

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)9月30日(水)

## テレビ電話で友達と勉強

城陽市・森田 千寛(大学生・21)

保育士・幼稚園教諭になりたい、また公務員になりたいと思い、今年2月から本格的に勉強を始めた。なりたいという気持ちはあっても心のどこかで「まだ大丈夫だ」と思い、ダラダラとしていた部分もあった。

しかし、試験を甘く見ていた。4月に初めてのテストを終えて「こんなに難しいんだ」と実感した。このままでは良くないと思い、必死に勉強をした。

初めは大学の図書館で勉強していた。しかし、新型コロナウイルスにより大学へ行けなくなった。家では集中しようと意気込んで、テレビなどの誘惑があり持続できない。

ある日、高校の友達と連絡を取り、一緒に勉強をすることに決めた。それは、オンラインでの勉強だ。テレビ電話をつなぎ、お互い勉強している姿を映す。それは、私にとって集中できるとても良い環境だった。孤独感がなく、他者の目があることで集中できた。

勉強は孤独で忍耐が必要だ。結果が見えてくるのが遅く、精神面も疲れてくる。しかし、誰かと行うことでそれらが保たれる。まだ、就職活動は終わっていないが頑張っていきたい。

※無断転載不可